

研究実施のお知らせ

2025 年 9 月 10 日 ver.1.0

研究課題名

島根大学医学部附属病院における尿沈渣陽性症例とその症例背景を後方観察する研究

研究の対象となる方

2023 年 8 月から 2025 年 9 月の間に島根大学医学部附属病院に受診され、尿の検査の中でも尿沈渣検査【**にょうちんさけんさ**】（詳しくいうと尿の中に含まれる血尿がどこから漏れ出ているのかを調べたり、細胞の形を調べたり、尿の中にたんぱくが出る時に漏れ出た成分を調べたりといった尿の詳しい検査）を受けられた方。

研究の目的・意義

尿沈渣検査は、一部の病気を除きほとんどの患者さんで痛みを伴わず、病気に対して有用性の高い検査といわれています。島根大学医学部附属病院において、そのことがどれくらい理解されているかどうかを、尿沈渣検査を受けられた患者さんのカルテ情報から調査することを目的とします。この研究を行う事より、この検査の有用性を広めるか活動ができたり、検査を行う臨床検査技師の検査の質を更に向上させたりすることが出来ます。

研究の方法

データの収集

研究に該当する患者さんのカルテおよび検査部内検査システムから次のデータを収集します。

研究対象となる患者さんの尿沈渣結果

研究対象となる患者さんの疾患名

研究対象となる患者さんの尿細胞診検査の検査依頼状況およびその結果

評価の方法

今回の研究の目的は尿沈渣検査結果とその病的成分の頻度、その疾患名、尿細胞診検査の依頼状況、結果の実態について調査し、尿沈渣検査陽性症例が臨床の場においてどのような位置づけにあるかを探ることを評価します。

研究の期間

2025 年 10 月 24 日～2028 年 3 月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。また、結果の透明性の確保のため、解析に用いた個別データを公開する可能性もありますが、その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院 松田親史

研究指導者

島根大学医学部附属病院 佐野千晶、矢野彰三

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026 年 5 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院検査部 松田親史

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2418 FAX 0853-20-2423